

## 表現活動の場「ダンスサークル」

### 取組の背景・目的

#### 背景

- ・近年、子ども達のダンスにおける表現活動への興味関心が高い。特に本館では小学生女子児童の関心が高く、遊びの中にもダンスを取り入れている場面も見られる。
- ・2018年から、仲間内で不定期に別々に活動していた2グループを2019年に一つにまとめ、正式に「ダンスサークル」としての児童館の週毎の活動とした。

#### 目的

- ・児童館の活動として位置付けることで、「男女」「学年」「経験」を問われることなく、「誰でも参加できる」時間と場所を確保できる。
- ・地域や館のイベントに参加し、発表の機会をもつことにより、モチベーションも維持でき、継続して楽しむことができる活動とする。

### 取組の概要

- ・実施場所  
富士見児童館 1階遊戯室
- ・備品  
児童館のPC及びCDプレーヤー
- ・実施頻度  
毎週木曜日 16:30~17:15 「祝祭日が重なった場合は無し」
- ・職員体制  
遊戯室内に職員2名~3名を配置
- ・事業の実施方法  
ダンスサークル担当の職員が中心となり実施。  
特に参加児童の固定はしておらず、興味のある児童が都度参加する形となっているが、大体同じ児童が参加することが多い。

## 工夫点・留意点

- 基本的に活動（表現）グループを低・中・高学年とし、技術の差が大きく出ないようにした。
- PC を活用して「視覚」からも情報を取れるようにした。
- 上級生に下級生へのコーチングタイムを設け、全員で活動している意識を持たせるように工夫した。

## 取組の効果

- 活動を始めた年は職員の指導が必要であったが、発表会を経験していったことで、昨年度からは子ども同士で話し合い、工夫して振付を構成していく姿が見られるようになった。
- 衣装も子どもたちで考え、自分たちで工夫して準備する姿が見られるようになった。
- PC を利用することで、具体的な動きや振りが分かり、ダンスの構成がスムーズになっている。
- 下級生は上級生の活動を見て学習し、上級生は下級生の面倒を見ることでサークル内の意識向上がみられる。
- 近くの小学校以外からも、ダンスサークルに参加するため来館して来る児童もいる。
- 活動が軌道に乗ると、発表会にたくさんの保護者が来館するようになり、子どもたちの励みとなっている。
- 参加児童の保護者の他、地域の来賓の方々からも称賛を受けた。



柴崎学習館文化祭 出演



フジミスノーパーティー  
発表ステージ

## 課題・今後の展開

### 課題

- 現6年生児童が、4月から参加できなくなる状況を鑑み、リーダー的に動いてくれる学年の育成が必要である。
- 同じグループばかりの活動ではなく、時にはシャッフルしていきたい。

### 今後の展開

- 男子の参加者を増やしていきたい。
- 参加者の増加。